

中長期的な成長による “豊かな社会作り”への貢献

当社を取り巻く外部環境と成長戦略

2016年度の世界経済は、中国をはじめとする新興国においては経済成長の鈍化がみられた一方、欧米を中心とする先進国経済は緩やかな回復が続きました。日本では円高の影響で輸出に弱い動きがありましたが、期の後半には全体的に持ち直し、経済は緩やかに回復しました。

そのような中、当社グループでは、LMガイドをはじめとする当社製品の市場を拡大すべく「グローバル展開」と「新規分野への展開」「ビジネススタイルの変革」を成長戦略の柱として掲げています。グローバル展開においては、中国をはじめとする新興国ではFA(Factory Automation)の進展等を背景としてマーケットは成長し、先進国でもユーザーの裾野が広がる中、これらの需要を取り込むべくグローバルで販売・生産体制の拡充に努めています。新規分野への展開においては、消費財に近い分野で当社製品の採用が広がる中、従来品のみならず新規開発品の売上高の拡大を図っています。さらに、これらの戦略を推し進めるべく、販売、生産、開発等様々な面でIoT、クラウド、AI、ロボットを徹底的に活用することで、ビジネススタイルを変革させ、ビジネス領域のさらなる拡大を図っています。

中長期的な成長に向けて

これらの成長戦略のもと、中長期的な成長に向けて、各事業における売上高の拡大に向けた取り組みを進めています。産業機器事業では、量産機向けではなく機械装置を実際に使用する幅広い顧客向けの販売拡大に向けた各種施策を展開しています。具体的には2016年8月よりLMガイドアクチュエータ SKR/KRのセミオーダー品の販売を

開始しました。お客様からの要望の高い5つのカスタムをセミオーダー化し、短納期で対応しています。新たに開設したWeb専用最適品自動選定ツールを使用することで、寿命計算や形番選定等を簡単に行うことができ、短納期を実現することができます。さらに、2017年3月には、シンガポール、マレーシア、タイにおいて「Omni THK」を開設しました。お客様が当社製品を認知してから注文に至るまでのプロセスのどの場面にあっても、自由にシステムを使うことができるため、当社の営業拠点が無い地域のお客様も含めていつでも簡単に当社製品を購入することができます。

その他の産業機器事業では、自動車や免震・制震装置、医療機器、航空機、ロボット、再生可能エネルギーなど消費財に近い新規分野において採用拡大に取り組んでいます。

輸送機器事業では、THK・THKリズム・TRAの相互の販売・生産拠点を活用する等のシナジーを発揮することにより、L&S(リンケージ アンド サスペンション)事業のさらなる拡大に加え、直動製品のコア技術を活かした新製品の開発と拡販に取り組んでいます。

これらに加え、収益性向上に向けた取り組みも強化しています。2017年3月に日本、米州、欧州、中国における各工場の加工機の稼働状況が一目でわかるイーグルシステムの導入が完了しました。これによりグローバル生産の平準化を図っています。将来的には製品や現場の人員等をネットワークにつなげ、あらゆる工程を見える化し、飛躍的な生産性向上を図っていきます。

2017年度の取り組みについて

2017年度からはグループ一体となった経営の推進を図り、業績等の経営情報の適時・適切な開

示を行うことで経営の透明性をさらに向上させることを目的として決算期を従来の3月31日から12月31日に変更することとしました。

加えて、本社事務所を現在の東京都品川区から同港区に移転する運びとなりました(2017年10月移転予定)。本社、支店および一部グループ会社の本社等を集約することにより、グループ内のさらなる連携強化と業務の効率化、就業環境の改善を図るとともに災害時等の事業継続計画(BCP)の対応強化を図ることを目的としています。

CSRの方針について

最後になりましたが、当社が生み出してきた「LMガイド」を中心とするTHK製品は、工作機械、産業用ロボット、半導体製造装置等に採用され、各種機械の高精度化、高速化、省力化に不可欠な部品として産業の発展に貢献してきました。つまり、当社が取り扱う製品、言い換えるならば本業そのものがCSRと考えています。

新たに当社のCSRの方針を掲げるのではなく、頑なに経営理念を実践していくため、基本方針やTHKグループ行動憲章を策定し社員のCSR意識の向上を図っています。「経営理念」「基本方針」「THKグループ行動憲章」は社員心得として小冊子にまとめられ、その考えを各極社員にも浸透させるため10ヶ国語に訳したうえで社員全員に配布しており、THKグループとして強固に持続可能な社会の創造に向けて社会的責任を果たしていきます。

THK株式会社 代表取締役社長 CEO

寺町 彰 博

